

# 防災分野

## 研究領域

### 「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	ブータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技術の開発		
研究代表機関	名古屋市立大学 大学院芸術工学研究科		
相手国	ブータン王国	主要相手国 研究機関	内務文化省 災害管理局
<b>研究課題の概要</b>			
<p>本研究は、ブータン伝統建築の耐震化指針と減災教育マニュアルを作成し、その運用を災害管理行政に組み入れ、地震に強い地域づくりに資することを目的とする。具体的には、版築・石積建築の耐震性能評価法を開発し、実大試験体を用いた静的・動的実験で検証する一方、新築および既存建物の耐震化に有効な補強方法や模範となる施工方法を確立し、併せて実施する地震ハザード評価の結果を加味した耐震化指針をまとめる。また、技術者・施工者講習によって指針を普及させ、住民教育により建物挙動と地域危険度に基づく避難行動を周知するなど、実効的な地震災害管理の枠組み作りを支援する。伝統建築の耐震性能向上を普及できる国内外の人材育成と起業支援を行い、地震に強い国づくりに協力し、将来的には、ブータン国民幸福度指標に地震災害に対する住民の安全確保を具体的に反映させ、災害脆弱性克服開発モデルとして他の国々にも寄与することを目指す。</p>			